

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2部2年	国語	古川 寿子	
サブタイトル	保育者として必要な教養と文章表現力	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	後期（2部2年）	出席要件	4 / 5以上
到 達 目 標			
<p>今日の社会は、人びとが多様な価値観を持ち、情報も瞬時に伝達される。知識や情報を正しく理解し、それを正しく伝達することが何より求められる時代である。保育者として、社会人として、意思の疎通が滞りなく行えるように、自分自身の言葉——知識と表現力——を磨く必要がある。</p> <p>本授業では、あらゆる活動や思考の基礎となる「国語力」を、話す・書く・学ぶの3つに分け、実践的な課題学習を通してこの3つの力を総合的に鍛える。</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>本科目では、「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につける」と「③多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につける」の2項目の涵養を目指した授業を展開する。特に、文章による表現力と会話表現によるコミュニケーション能力、双方の向上は保育者にとって不可欠の資質である。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>基本的に講義形式で授業を進めるが、「紙芝居」では実演を求める。また、授業展開に即してグループワークを取り入れる。</p> <p>授業では初回と15回を除き毎回、開始直後に漢字や語句の「小テスト」を実施する。</p> <p>また「授業シート」を毎回記入し、ねらいに沿った学んだことをまとめる。</p>			
テキスト・教材・参考図書			
<p>なし</p> <p>*その他の参考文献は授業時に指示する。また、適宜資料を配付する。</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
1. 毎授業実施する「漢字・語句の小テスト」の成績		小テスト	20%
2. 課題の内容と提出期限の遵守		課題（授業シートを含む）	20%
3. 協働課題（実演など）への取り組み姿勢		実技など	10%
4. 定期試験の成績		定期試験	50%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句の確認テストを毎時間実施するので、出題範囲の「予習」を必ずしてくること。 ・「国語力」は日々の生活のなかで磨かれ、鍛えられていくものである。保育者として、また社会人として求められる総合的な国語力の体得には、前向きで意識的な取り組みが不可欠である。 ・授業シートを毎回書き、学んだこと、分かったことを記入し提出する。 			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	【初回ガイダンス】授業の計画、進め方、評価方法を確認する。 ・「言語や言葉を習得する」とはどういうことなのかを考える	授業の目的と意義の理解
2回	【話す①】話し方の基本を理解する。 ・発音、発声、アクセント、スピード、間などを意識して、自己紹介の仕方に挑戦	正しい話し方に対する理解と意識
3回	【話す②】話し方の基本を実践する。 ・話し方の基本を基に、教育内容をふまえ、話したり聞いたりすることで、保育現場で求められる話し方を意識	聞く側（他者）とのコミュニケーション意識
4回	【学ぶ①】日本語特有の読み方、数え方、方角などの知識を得る。 ・月の異名、十二支、四神、春の七草、秋の七草、二十四節気、多様な色彩表現	日本の文化に直結する国語の教養
5回	【話す③書く①】敬語と忌み言葉を理解する。 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分け、場面に適合する表現や対応	他者とのコミュニケーション能力
6回	【話す④・書く②】敬語と忌み言葉を理解する。 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分け、場面に適合する表現や対応	他者とのコミュニケーション能力
7回	【学ぶ②】お礼状の書式を学ぶ。 ・手紙や葉書の書き方や出し方を学び、実習後のお礼状の文案を作成	書簡における一般常識の理解
8回	【書く③】論理的文章を読み、その要約をまとめる。 ・論理的文章を読み解く	文章読解力
9回	【書く④】論理的文章を読み、その要約をまとめる。 ・論理的文章を読み解き、要約文を作成	文章読解力
10回	【学ぶ③】児童文化財への知識を得る ・児童文化財について、その概要や特徴を知り、遊びかたを考察	保育および幼児教育教材に関する知識
11回	【学ぶ④】児童文化財への知識を得る ・「昔話」や「わらべ歌」「お伽噺／童話」について、その特徴や歴史を理解	保育および幼児教育教材に関する知識
12回	【話す⑤】 ・紙芝居をグループ単位で練習し、声の出し方や話す速度などを理解	保育および幼児教育現場に適する発声や話す速度の理解
13回	【話す⑥】 ・幼児に見せる前提で、グループによる「紙芝居」の実演	保育および幼児教育現場に適する発声や話す速度の理解
14回	【話す⑦】 ・幼児に見せる前提で、グループによる「紙芝居」の実演	保育および幼児教育現場に適する発声や話す速度の理解
15回	【まとめ】全15回の授業を振り返り、総括する。	実演を通して磨かれる総合的な国語表現力と自己を振り返る力
試験		

